教育のぼりべつ

令和３年
10月1日
No.31

発行；登別市教育委員会 TEL0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

元気一杯に全力疾走「運動会」!!

７月３日（土）鷲別小学校・幌別東小学校の両校で「運動会」が市内トップを切って開催されました。鷲別小学校は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により６月から延期になっての開催で、感染予防対策として、前・後半の「２部制」で実施されました。会場には、保護者が応援に駆け付け、拍手を送るなか、子どもたちは、元気一杯に参加していました。

今年のスローガン「走れ！勝利の道へ最後まで！～みんなの全力つなげよう！～」



２年生　徒競走



５年生運命の人～私を迎えに来て～

他の小学校の開催日は、７月１４日（水）青葉小・幌西小で実施され、１０月９日（土）幌別小・若草小・富岸小、１０月１６日（土）登別小の予定となっています。各学校、感染予防対策として、午前のみの開催、学年を分けての開催種目内容の工夫等を行って実施します。

「キウシト湿原自然学習」

８月３日（火）幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」の行事として、キウシト湿原自然学習が実施されました。

当日は、児童７名・はまなすメート関係者３名の１０名が参加しました。児童らは、キウシト湿原の職員から説明を受けた後、２グループに分かれて湿原の中を楽しく探索しました。



市内小中学校のグランドデザイン

小中学校の適正配置・適正規模の長期指針

登別市教育委員会では、将来的な子ども数の減少にあわせた段階的な小中学校の適正配置や適正規模の考え方をまとめ、グランドデザインとして示すこととしました。具体的には、人口減少による学校規模の縮小により予想される教育上の諸課題を解決するため、2021 年度（令和３年）から 2055 年度までの３５年間を３期に分けて長期的な指針として示しました。

〈第１期〉（2021～2025 年度）

児童生徒数の減少を考慮し、幌別東小は幌別小との統合、登別中は幌別中との統合を検討し、小学校７校、中学校４校の全 11 校体制にする想定。登別小については特色ある教育の推進を目指し、校区外から児童の受け入れも検討する。

〈第２期〉（2026～2035 年度）

更なる児童生徒数の減少により幌別・幌別西・青葉・富岸の４小学校を２校に再編。若草・鷲別両小学校を１校に統合。幌別・西陵両中学校を１校に統合し、小学校４校、中学校３校の全７校体制にする想定。

〈第３期〉（2036～2055 年度）

鷲別・緑陽及び幌別と西陵の統合後の中学校の３校を２校に再編し、小学校４校、中学校２校の全６校体制とする。

本年度は、幌別東小と登別中に保護者や地域住民により構成される地区別検討委員会が立ち上がる予定であり、この委員会において、両校のあり方や統合の是非などに関し協議が行われる予定です。

子どもの教育のあり方に係る意見交換会

登別市教育委員会が主催して「子どもの教育のあり方に係る意見交換会」が、７月１５日（木）登別中学校区の住民を対象に婦人センターで３３名が出席して開催されました。まず、教育委員会から現時点の地域の人口減少の予測と学校の在り方に対する考えを説明した上で、登別中学校区では、現在の学校の良い点と課題、仮に幌別中学校に統合した場合の良い点と課題等についてグループ毎に意見交換が行われました。登別中学校は、小学校から一緒で皆仲が良い、特色ある学校の取組があるなどの良い点があげられていました。課題では、色々な面での競争力の低下や部活動の選択が少ない等があげられていました。統合した場合の良い点としては、色々な面での競争力の向上やクラス編成ができ、部活動も選択肢が増える等があげられ、課題では、通学時間や方法、特色ある取組ができなくなる心配等があげられました。



同じく１６日（金）幌別東小学校区の住民を対象に２９名が出席して同校体育館で開催されました。幌別東小学校区では、現在の学校の良い点と課題、仮に幌別小学校に統合した場合の良い点と課題等についてグループ毎に意見交換が行われました。幌別東小学校では、人数が少なく仲が良い、指導が行き届くなどの良い点があげられ、課題では、学年によって男女のバランスが悪く、体育などでは人数が少なくやれる種目が限られる。統合によって、クラス編成ができることや今までできなかったことができるようになる良い点があげられ、課題では、通学方法や大きな学校に統合することで色々な面で心配等があげられました。





教育委員会では、これらの意見を参考に市内小中学校のグランドデザインを公表しました。

元気に市民ラジオ体操会

７月２５日（日）登別小学校と幌別西小学校のグラウンドを会場として、毎年恒例となっている「市民ラジオ体操会」が登別市スポーツ推進委員会と教育委員会の共催で実施されました。市民ラジオ体操会は、市民の体力向上と健康保持やラジオ体操の普及・振興、小学生の規則正しい生活習慣の定着を図ることを目的としています。

早朝にもかかわらず、児童や保護者、関係者を併せて約１６０名（両会場）が参加し、定刻から「ラジオ体操会」を開始。新型コロナウイルス感染防止のため、参加者は、前後左右それぞれ２メートルほどの間隔を空け、スポーツ推進委員の手本を見ながら元気良く取り組んでいました。これを機に「早ね・早起き・朝ごはん運動」に進んで取り組み、規則正しい生活を心がける子どもたちが、一人でも多くなることが期待されます。



← 幌別西小学校



← 登別小学校

Chromebook を効果的に取り入れた授業づくり

登別市の小中学生には、昨年度までに一人に一台のChromebook を配布済みです。各小中学校では、早速いろいろな教科、活動で使い始めており、子どもたちは、Chromebook の扱いにも随分と慣れてきました。７月１５日（金）に幌別小学校で３年生の算数科の授業研究が実施されました。単元は「表とグラフ」で目盛りの付け方が異なる２つのグラフを比較する活動を通して、目的に合った目盛りの付け方について考える授業を行いました。Jamboard に自分たちの意見や気がついたことを書き込み、班で共有して話し合い、班の中で話したことを学級全体で交流しました。その後、個別にスプレッドシートでのグラフの作成に挑戦し、作成したグラフから分かることを全体で交流しました。
子どもたちは、Chromebook を使い楽しく積極的に授業に参加していました。





「いじめ撲滅集会「DBA 集会」

７月１６日（金）に幌別中学校で、DBA 集会が開催されました。DBA とは、「Don't　Bully　Anybody」の略で「誰にもいじめをさせない」ということを意味しています。事前に全校生徒にアンケートを取り、その結果や分析を報告したり、生徒会役員がいじめを題材にしたロールプレイや学級代表が参加してのディスカッションで考えを深めたりしていました。生徒たちは、積極的に参加し、全校生徒みんなで協力して、いじめゼロを目指していこうと決意しました。



ロールプレイの様子



ディスカッションの様子